芦屋市弘報

芦屋市精道町93
発行所　芦屋市役所
発行人　芦屋市長
編集人　西田増蔵
印刷所　塚田印刷KK
毎月1回20日発行定価2円

# 芦屋市制施行15周年

## 11月10日は芦屋市の誕生日

## 市制十五周年を迎えて

芦屋市長　内海清

本年は芦屋市が誕生致しましてから、十五周年の意義深い年でありまして、市民の皆様と共に、心からお慶び申上げます。

茲に過去十五年の歴史を顧りみまして、まことに感慨無量なるものがあります。しかし十五年の歴史は決して永いとは申しません。歴史は永きが故に尊いのではないのでありまして、要はその中に盛られた内容こそ、最も尊いものであるといえます。この十五年の歳月をふり返つてみますると、この間に未曽有の大戦がありまして、わが国はこの上なき深刻な体験をした訳でありますが、本市に於ても、もとよりその例にもれなかつたのであります。かかる意味において、この十五年は只の平凡な十五年ではない。実に目まぐるしい、幾多変転に富んだ十五年であつたのであります。

即ち戦時、戦後を通じ、行財政その他の面で少なからぬ改革をみまするとともに、他方戦災によりまして、莫大の損失を蒙つたのでありますが、幸いに市民各位の不退転の熱意をもつて、これら困難を克服して、よく復興の実をあげて参つたのであります。

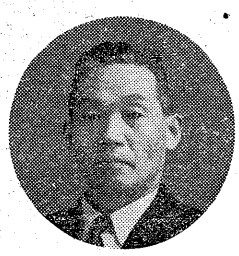
更に昭和二十六年には、「芦屋国際文化住宅都市」の指定をうけ、茲に本市の進むべき道が明確にされた次第であります。爾来、文化都市の建設という大目的に向つて、着々邁進しているのでありますが、この理想への到達は、洵に容易ならぬものがあります。

私は意義深い十五周年記念に際し、改めて過去十五年の歩みを振返り、思いを新たにして、更に将来の飛躍をば、五万市民の皆様と共に、念願するものであります。

## 感慨深い十五年

芦屋市議会議長　筏鹿一

私事にわたつて恐縮ですが、私は、昭和十二年から同二十年まで、すなわち、精道村から芦屋市への八年間、助役として奉職して居りましたので、市制発足前後のことはくわしく存じていますし、若干苦労もいたしたのであります。そして、今はまた、市議会に席を連ね、議長たるの光栄に浴して居ります関係上、昨今の本市の状況も具さに存じて居るのであります。それで、市制十五周年ということは、一入感慨深いものがある次第であります。



申し上げるまでもなく、この十五ヶ年は、日本の国にとつても、またお互いの生活や身の上についても、まことに容易ならぬ十五年でした。有史以来の変転と申すも過言ではありません。

芦屋市という自治体も、もとより例外ではなく、健康優良児のように勢いよく誕生した市も、敗戦から今日まで、栄養失調の兆候を呈することは、避けられませんでした。

幸いに、今、市は健康を回復しようとしています。行財政各般にわたり、漸くにして、秩序と発展の足どりが見えはじめています。実に大切な時期にさしかかつて居るのであります。

人生に於ては、十五歳を以て元服するという故事がありますが、本市も譬えて申せば、市制に於ける成人の域に達したわけです。市民も市当局も市議会も、心機一転、協力一致、本市をして、名実ともに、市と称するに足る自治体に、芦屋の名に恥じぬ市に造り上げねばならぬと存じます。

記念の日は、皆様とともに、しみじみと祝いたいと思いますが、決して空騒ぎをすべき秋ではありません足を地に着けて、理想は高く、計画は周密に、一歩一歩を堅実に進むように覚悟を新たにしたいものであります。

市議会議員一同に代り、些か所懐を陳べ、謹んで祝意を表する次第であります。

## 慶びの日を控え 記念行事のかずかず

栄光の道へつづく苦難の星霜をかさねて、芦屋市はいよいよこの11月10日市制施行15周年記念日を迎えることとなりました。このよき日を記念する行事は特に市、市議会、一般よりなる13名の記念行事委員会が構成され、着々計画を進めていますが、その主なものは……

1、市制施行十五周年記念式典

11月10日午前9時より精道小学校に各界の来賓約二五〇人を迎えて、厳粛に挙行し、この席上、各般にわたつて市に功労あつた一二五名の人々と二五の団体を表彰、感謝することになつています。

2、記念行事のかずかず

15周年記念市民文化祭が華々しく市内各所でけんらんの幕を開く外、秋季市長旗野球大会・県下都市対抗軟式庭球大会・市民軟式庭球選手権大会・体育協会長杯優勝卓球大会、或いは商工会野球大会、異色ある市民自転車旅行等の一連の市民体育行事、学童合同秋季運動会、学童合同音楽会等の学校行事が開催されます。

また、市内の緑地公園、学校に各種樹木を、城山に桜を記念植樹する特別行事の計画も進んでいます。

そしてこれらの記念行事に参加した人々には染抜手拭が贈られることになつています。

一方この慶びを分つべく、市立幼稚園・保育所・小中学校の全児童には鉛筆を2本ずつ、生活の豊かでない約三三〇世帯には石けん3ゴと記念手拭1本ずつが記念の日に配られます。

3、記念市勢要覧の発行

一歩一歩たゆみなく印してきたひと昔半の足跡をふりかえつて「市制15年のあゆみ」と題する記念版市勢要覧が、各方面の資料をもとに、現在印刷中で、近く発行をみる予定です。

このほか、11月62～27日には記念西宮競輪の開催も決定しており、検討中の記念事業として公会堂の新築計画も樹立されようとしています。

## 市役所休庁

11月10日（木）は市制施行15周年記念日につき市役所は当日仕事を休みます。お急ぎの御用の方はなるべく前日迄におすましになります様念のため。

## 新市議会副議長 教委正副委員長

9月19日の市議会で新たに副議長に神井清太郎、又10月10日市教育委員会の正副委員長に、長谷川利彦、天王寺谷又之助の諸氏が夫々選任された。

## 芦屋市の人口

（10月1日現在）

| | |
|---|---|
| 人口総数 | 55,864 |
| 男 | 27,522 |
| 女 | 28,342 |
| 世帯数 | 14,881 |

## 芦屋市の英霊を祀る 慰霊塔を建立

太平洋戦争の尊い本市出身犠牲者、戦死八四〇余柱、戦災死一七〇余柱、合計千余柱の英霊を祀る慰霊塔を建立することが、さる9月の市議会できまり、9月23日厳そかに起工式をとり行いました。場所は朝日ケ丘の市霊園正面ロータリー内、既に整地を完了して塔建立に着手しております。

塔の設計は市建築課が当り、日本建築の原型である天地根元の宮造りの型を最も簡素厳粛に表徴したもので、約50万円の工費で11月中旬竣工次第、除幕式を執行、千余の英霊が永えに当市を見下ろす高台に眠ることになるわけです。

## 業務米には 米飯提供業者の登録を

政府では、米穀流通秩序の確保と闇米価格の抑制を図るため、米飯提供業者（学校・病院・会社・官公庁の食堂を含む）を対象に、業務用米穀の売渡しを行うことになりました。この業務米売渡しをうけるには、必ず「米飯提供業者」の登録を前もつて受けていなければなりませんが、これ以外でも客に米飯を提供しようとする業者は「米飯提供業者」の登録をうけるよう、商工課ではのぞんでいます。

業務米受配を希望の業者は取引きある米穀店へ、新たに登録をうけようとする業者は市商工課へ申出て下さい。

## 操縦学生募集

航空自衛隊では幹部操縦要員養成のため、操縦学生（二等空士）の志願を10月27日まで受付けています。応募資格は昭和11年4月2日～13年4月1日生れの高校卒業者または31年3月卒業見込の男子となつており、試験は11月7日と24～30日に行われ、採用人員は全国で約二百名です。志願票は10円切手同封姫路駐とん隊募集課へ請求すること。詳細は市庶務課へ。

## 公示送達

次の昭和三十年度市県民税第二期督促状が、所在不明で配達不能ゆえ公示送達をしました。ご存知の方は、税務課までお知らせ願います。

《住所納税者（二期税額単位円）の順》

◎翠ケ丘町二〇三大窪清道（九八六）◎鹿児島県大口市大口町里村三六四浜田正次郎方吉田卓郎（六四〇）◎尼崎市杭瀬字北新町二丁目七喜多敬（二四六）◎大阪市南区高津町一三二瓶淳（一、二一〇）◎神戸市東灘区本山町北畑字寮川田武義（四六〇）◎鹿児島県出水郡米之津町下鯖淵中塩尾徳元国祥方徳元貢（一、二〇〇）◎熊本県鹿東郡鹿北村大字推寺須屋三五九六塩本英一郎（三六三）◎神戸市東灘区本山町北畑字芦原七〇石川正（二四〇）◎大桝町五七堀ゆう（一八三）◎大桝町五七堀妙子（七六一）

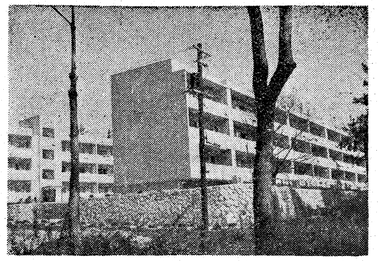
## 第4回 文化祭プログラム

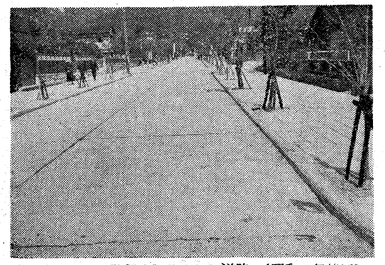
| 催名 | 月日 | 時間 | 会場 | 主催者名 |
|---|---|---|---|---|
| 優秀映画会 | 10・30 | 後2 後6 二回 | 精小講堂 | 芦屋市公民館 |
| 編物・手芸展示会 | 10・30～11・1 | 前9～後8 | 公民館 | 芦屋市公民館 |
| 優秀映画会 | 10・31 | 後2 | 精中講堂 | 公民館打出分館 |
| 芦屋市職員互助会展 | 10・31～11・2 | 前9～後4 | 市役所三階 | 芦屋市職員互助会 |
| 犯罪関係統計資料移動展 | 10・30～11・15 | | 市内各所 | 芦屋警察署 |
| 紙芝居の会 | 11・2 | 前10 | 図書館 | 図書館 |
| 日本画展示会 | 11・2、3、4 | 前9～後4 | 図書館 | 芦屋読画会 |
| 良書ポスター展示会 | 11・2、3、4 | 前9～後4 | 図書館 | 図書館 |
| 書道展 | 11・2、3、4 | 前9～後5 | 公民館 | 柴折会 |
| フォークダンスの集い | 11・3 | 後6～後8 | 精小校庭 | 芦屋フォークダンス同好会 |
| レコードコンサート | 11・3 | 後2～後4 | 図書館 | 図書館 |
| 展示会・バザー | 11・3 | 前9～後4 | 芦屋女高 | 芦屋女子高校中学校幼稚園自治会 |
| 四市合同短歌大会 | 11・3 | 後5 | 公民館 | 阪神四市教育委員会芦屋短歌会 |
| 手工芸展示会バザー | 11・3 | 前9～後4 | 精小講堂 | 芦屋市婦人会 芦屋手工芸協会 |
| 素・謡大会 | 11・3 | 前9～後6 | 打出会館 | 芦屋能楽同好会 |
| 講演会 | 11・5 | 後2 | 精中講堂 | 公民館打出分館 |
| 子供オペラ発表会 | 11・5 | 後3～後5 | 精小講堂 | 辻井楳子 |
| 舞踊会 | 11・5 | 後6～後9 | 精小講堂 | 齊藤静枝 |
| 書道展 | 11・6、7 | 前9～後8 | 公民館 | 公民館 |
| 各流合同名取舞踊会 | 11・6 | 前9～後4 | 精小講堂 | 芦屋邦舞協会 芦屋市公民館 |
| 子供バレエの会 | 11・6 | 後6～後6 | 精小講堂 | 根津バレエ研究所 |
| 人形劇 | 11・6 | 後2～後4 | 宮小講堂 | 人形劇団ブッチ |
| フォークダンスの夕 | 11・7 | 後6～後8 | 精小講堂 | 芦屋フォークダンス同好会 |
| 市民余技展 | 11・8、9、10 | 前9～後8 | 公民館 | 美術協会 |
| 局内参観デー | 11・9、10 | 前9～後5 | 電報電話局 | 電報電話局 |
| 家族計画展 | 11・10、11、12 | 前10～後4 | 保健所新館 | 兵庫県芦屋保健所 |
| 写真展 | 11・11～15 | 前9～後8 | 公民館 | 美術協会写真部 |
| 商店街訪問駅伝競走 | 11・13 | 前9～後1 | 市民グランド 九時出発 | 体育協会・芦屋市商工課 |
| ピアノ演奏会 | 11・13 | 後1 | 仏教会館 | 永井静子 |
| 芦屋交響楽団演奏会 | 11・13 | 後6 | 仏教会館 | 芦屋交響楽団 |
| 楽焼会 | 11・13 | 前10～後5 | 打出焼窯元 | 打出焼窯元 |
| 青園会書道展 | 11・13 | 前9～後5 | 打出会館 | 青園会 |
| 詩の話をきく会 | 11・13 | 後7～後9 | 公民館 | 公民館 |
| コーラスとサロンオーケストラ | 11・13 | 後1～後4 | 芦屋高校 | 芦屋音楽協会 |
| 子供祭 | 11・13 | 後1～後4 | 宮小講堂 | ちすなろ友の会 |
| 創作バレエの会 | 11・13 | 後6 | 宮小講堂 | 山田真平バレエ研究所 |
| 茶華道大会 | 11・13、14 | 前9～後5 | 精小講堂 | 芦屋市茶華道協会 |

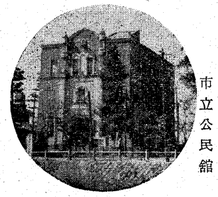
# 躍進するわが芦屋市のすがた

## 今日の市勢

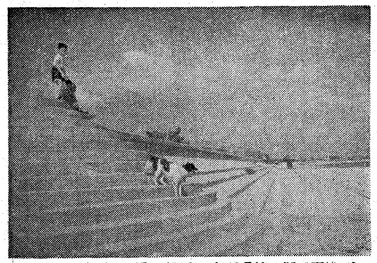
| | |
|---|---|
| 位置 | 東経135度19分 北緯34度44分 |
| 面積 | 東西2,085米南北7,533米 面積15.19平方粁 |
| 気温 | 平均C16.3度（29年中） |
| 人口 | 55,864人 内男27,522人 女28,342人 14,881世帯 |
| 市制 | 昭和15年11月10日施行 |
| 市長 | 内海清 |
| 市議会議長 | 筏鹿一 |
| 市議会議員 | 30人、総務、民生、建設の三常任委員会あり、外に特別委員会が臨時特設されることがある。 |
| 警察職員 | 99名 |
| 消防職員 | 40名 |
| 教職員 | 中学82、小学141、幼稚園21 |
| 生徒、児童 | 中3,052、小6,418、幼645 |
| 公営住宅 | 762戸 |
| 生活保護 | 305世帯 743人 |
| 伝染病 | 56人発生、2人死亡（1月以降） |
| 犯罪 | 発生747件検挙632件（1～9月） |
| 火災 | 15件（1月以降） |
| 農家 | 110戸 |
| 耕地 | 34町歩 |
| 米麦生産高 | 米450石（予想）、麦70石 |
| 漁家 | 29戸 |
| 漁獲高 | 年12万貫 |
| 工場 | 31 |
| 工業生産高 | 1億7千6百万円 |
| 商店 | 808 |
| 道路 | 124粁7（内舗装33粁7、舗装率27%） |
| 橋梁 | 54 |
| 下水道 | 16粁6 |
| 電話 | 3,949 |
| 水道 | 年364万m³配水、給水戸数8,578戸 |
| 電気 | 年815万KWH |
| ガス | 8,379戸 |
| ラジオ | 9,203戸 |
| 街灯 | 治安灯886 装飾灯19 |
| 交通機関 | 国鉄，阪急電鉄，阪神電鉄，国道線，阪国バス，阪急バス |
| 市立病院 | 内科、外科、放射線科、100病床、（朝日丘町） |
| 市立図書館 | 蔵書2万冊、閲覧者毎日平均200人（打出小槌町） |
| 市立公民館 | 備品21吋テレビ、16粍トーキー映写機2、幻灯機3、テープコーダー1、各種講座、講習会多数開設（前田町） |
| 学校 | 高校2、中学3、小学5、 |
| 幼稚園 | 11 |
| 保育所 | 2 |
| その他の社会文化施設 | 市立図書館、県保健所、黒川古文化研究所、三田谷治療教育院 |
| 市役所 | 職員数260人（臨時職員を除く）助役、収入役以下総務部に庶務、税務、戸籍、商工、衛生各課、建設部に土木、計画、建築、住宅、水道各課、外に人事課、出納室、福祉事務所、市立病院等がある。 |
| 行政委員会 | 選挙管理委員会、教育委員会農、業委員会、公平委員会監査委員等がある。行政権の過度の集中を避け、又行政の民主化を図るため、ある程度市長から独立した立場に在る委員会である。 |
| 予算 | 30年度現計一般会計一千8百48万円 特別会計 3億6千9百31万円 計9億5千7百79万円 |

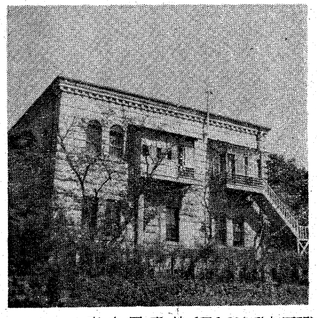

翠ケ丘町分譲アパート（昭和30年竣成）


茶屋之町都市計画道路（昭和29年竣工）

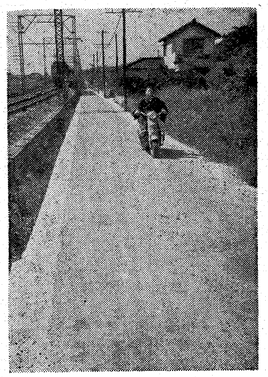

市立公民館（昭和29年開館）

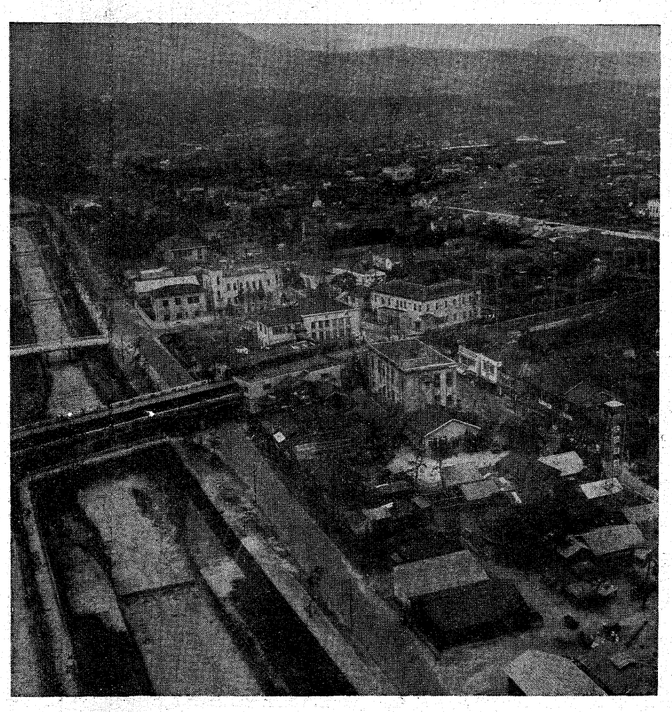
モデルスクール宮川小学校（昭和26年落成）


防潮堤（昭和25年12月第1期工事竣工）

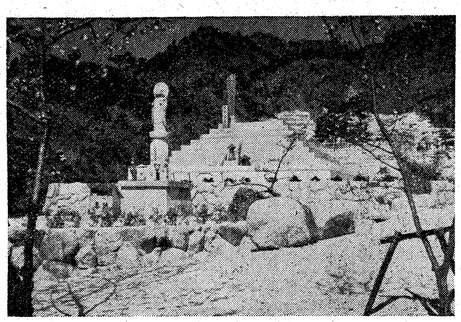

市立図書館（昭和29年移転再開）

宮川幼稚園（昭和29年落成）

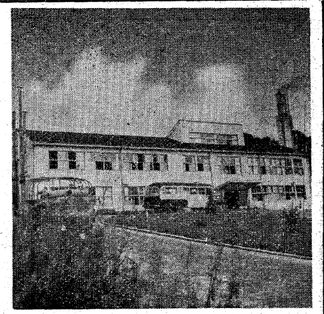

舗装された水道筋（昭和30年完工）

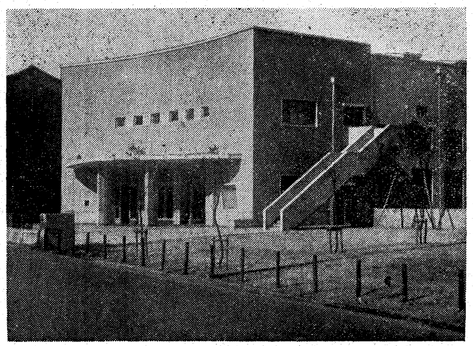

空から見た芦屋市街
《讃売新聞社提供》

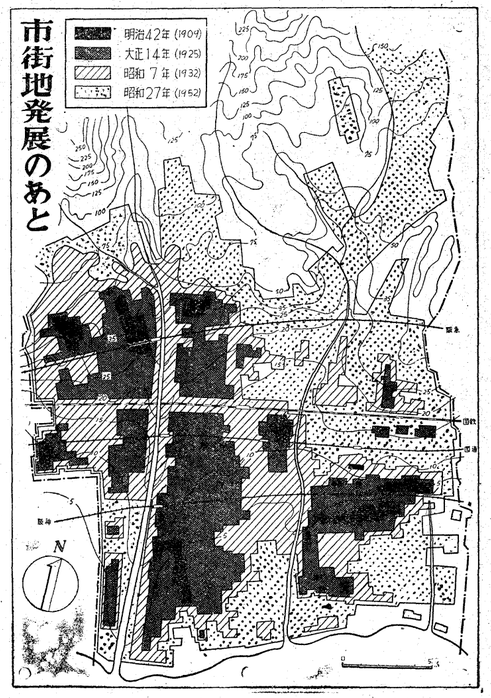
打出保育所（昭和27年開所）


霊園光明地蔵尊（昭和29年開眼）

大東町市営住宅（昭和29年完成）


市立芦屋病院（昭和27年開院）


精道小学校講堂（昭和27年竣成）




## 芦屋市十五年のあゆみ

**昭和15年**（1940）
**11月10日　市制施行**全国第一七三番目の芦屋市が誕生した。大利市右衛門が市長臨時代理者に、茂嶋一が助役臨時代理者に、矢島末蔵が収入役臨時代理者に、県知事よりそれぞれ任命された。この日紀元二六〇〇年奉祝、市制祝賀旗行列が行われた。
12月26日　初の市会議員選挙が行われ、30名の議員が選出された。

**昭和16年**（1941）
1月9日　初代市会議長に山村伊左衛門、副議長に高津久四郎が当選就任した。
1月31日　大利市右衛門が市会で全会一致で初代市長に当選就任した。
5月　衛生組合を廃し8連合町内会と41町内会を結成した。
12月8日　太平洋戦争始まる。
この年、米穀その他の統制が始まった。

**昭和17年**（1942）
この年、警戒警報10回、空襲警報3回発令

**昭和18年**（1943）
1月28日　2代議長天王寺谷忠左衛門、副議長鈴木亀太郎が推せんで就任。
この年、警戒警報3回発令。

**昭和19年**（1944）
2月22日　国勢調査施行、人口三七、七六二（男一七、五七八、女二〇、一八四）世帯数八、二九三。
1月10日　町名改正と地番更正を実施。
12月25日　市庁舎増築工事起工。
この年、警戒警報23回、空襲警報6回発令、戦局苛烈となり資材人員共に欠乏す。

**昭和20年**（1945）
1月16日　3代議長杉岡藤右衛門、副議長山村利左衛門当選。
2月5日　長岡喜十郎が2代市長に就任。
5月11日　6月5日、15日、8月5日空襲あり、総戸数の40%が被災、特に学校校舎は80%を失った。
8月15日　太平洋戦争終戦。

**昭和21年**（1946）
10月　市選挙管理委員会成立。
11月29日　4代議長山村利左衛門。12月10日副議長海富五郎吉当選就任。
12月20日　初の市営住宅10戸大桝町に竣工。
12月23日　農地委員会発足す。
この年、職災復興土地区劃整理事業始まる。

**昭和22年**
4月1日　6・3・3制実施され、国民学校は小学校に改称し高等科は廃止した。県立芦屋高校、同併設中学校発足。
4月5日　公選知事、市長選挙執行、市長に杉岡藤右衛門無投票当選し、7日3代市長に就任。
4月30日　市会議員選挙執行。
4月30日　官設芦屋消防署が創設された。また芦屋市消防団が設立された。
5月23日　5代議長堺谷巳之助、副議長南野辰之助就任。
7月15日　芦屋税務署開庁。
7月　13駐在所を4出張所に統合した。
11月1日　県芦屋保健所開所。

**昭和23年**（1948）
3月7日　公安委員会が設けられ、芦屋市・本山村・本庄村共同の組合警察署が設置された。また組合消防署を設けた。
5月27日　6代議長堺谷巳之助、副議長南野辰之助再任。
6月4日～9日　第1回芦屋市展が開かれた。
7月1日　市営海水浴場開設。
9月28日　市長選挙に猿丸吉左衛門当選し、10月10日4代市長に就任した。

**昭和24年**（1949）
2月21日　芦屋電報電話局が郵便局から離れ発足した。
5月3日　市立図書館が仏教会館で開館した。
5月18日　7代議長山村利左衛門、副議長井田建次郎就任。
5月24日～6月2日　市営園田競馬を始めて開催。
7月　芦屋市弘報委員会制度設置。
8月20日　市弘報「あしや」創刊。
11月28日～12月5日　第1回市営西宮競輪を開催。

**昭和25年**（1950）
5月26日　8代議長山村利左衛門、副議長井間皓之就任。
9月3日　ジェーン台風来襲猛威を揮つた。
10月1日　国勢調査施行、人口四二、九四九（男二一、五〇〇、女二一、四四九）、世帯数九、七八五。
10月10日　本市単独の芦屋市警察署・同消防署が新発足した。
10月15日　市制十周年記念式典を挙行。
10月30日　黒川古文化研究所が春日町に開設された。
11月10日　初の市教育委員選挙執行。
12月1日　芦屋市教育委員会が発足した。
12月4日　芦屋国際文化住宅都市建設法案が衆議院で、6日参議院で可決された。

**昭和26年**（1951）
2月11日　芦屋国際文化住宅都市建設法の住民投票が行われ、賛成多数で通過した。
3月3日　法律第8号で「芦屋国際文化住宅都市建設法」が公布された。
モデルスクール宮川小学校校舎竣工。
4月14日　市議会議員選挙執行。
4月23日　9代議長作間昇、副議長井間皓之就任。
5月12日　芦屋市農業委員会成立。
7月26日　芦屋市公平委員会が創設された。
10月14日　市営魚卸売市場開場。
10月15日　ルース台風のため高潮襲来。

**昭和27年**（1952）
5月25日　第1回業平祭挙行。
5月28日　10代議長南野辰之助、副議長井田建次郎就任。
5月　花原ゴルフ場が開場した。
6月10日　市立打出保育所開設。
7月1日　住民登録が行われた。
7月12日　市立芦屋病院が開院した。
8月20日　芦屋高校全国高校野球大会で優勝。
9月16日　市長選挙執行、内海清当選、5代市長に就任した。
11月28日　吉井助役就任。
12月6日　精道小学校80周年記念式挙行。
12月8日　芦屋商工会が結成された。

**昭和28年**（1953）
1月15日　芦屋市都市計画の地域決定が建設省から告示された。
5月1日　市役所の機構が現制（2部11課1室1所）に改革された。北口正道収入役に就任。
11代議長南野辰之助、副議長山村豊就任。
合風13号来襲し、市内に被害あり。

《第4面へ》

昭和29年1月25日
第三種郵便物認可



# 文化都市へ着々前進

## 完全浄化めざす
## 大下水工事計画認可さる

本市の下水道は、他都市にさきがけまだ精道村であつた昭和10年から10ヵ年計画で工事を始め、終戦後一応完成をみたものです。しかし現在では、下水を無処理のまゝ海へ放流していたのでは下水管と水洗便所の直結もできず、また海水の汚染も甚だしいので「国際文化住宅都市」の体面上からも、さらに完備した下水道を完成すべく、かねて慎重な調査、検討を重ねていました。

ようやく昨年末第二次下水道計画を樹立、ときの市議会で賛同を得ました。そして本年1月、建設、厚生両省に事業認可申請を提出しましたが、さる8月8日正式の認可をうけ、こゝに待望の文化都市にふさわしい下水道が新しく生れようとしているのです。

この第二次計画は、総工費三億八千五百万円、十カ年継続という大事業で、計画目標の人口は八四、二七〇人、排水面積は六六一ヘクタール、汚水量は一人一日二五〇立としています。下水は一部の合流式をのぞき、雨水汚水分流排除方式の下水道によつて処理場に流入させ、雨水は濾過、沈砂ののち、汚水は濾過、沈澱、滅菌の後、ともにポンプ揚水して大阪湾へ放流することになります。

また満潮時の下水完全排除を期して遮集幹線を完備し、既定計画の排水管を整備拡充することになつており、なお処理場には将来、汚染が極度に達する場合に備え、高速度散水濾床を附加できる設計がなされています。住宅都市としての基礎要件たる下水道が、かくの如く整備される日をご期待下さい。

## 舗装に、改修に進む土木工事

計画道路中央線舗装…国道芦屋駅前停から阪神ガード北までの歩道を10月～12月にかけてブロック舗装。宮塚公園から旧国道にかけ一七〇米にわたつて車道を特別失業対策事業により舗装します。工期11月～12月末。〈特別失業事業とは、失業対策人夫の優秀な者を選抜して行う工事〉

江尻川川浚え…南宮町派出所より川口の間の川浚えを9月20日より行い、すつかりきれいになりました。折角美しくなつたのですから、ご附近の方は絶対ゴミを投げないようにして下さい。

大僧橋修繕工事…10月10日より月末まで。

## 安全運転と安全通行
### ――秋季交通安全運動――

交通事故は依然として減りそうでなく、赤信号が続いております。このような不安定な交通状態を打開しようと、十月十日より二十日まで準備期間、十月二十一日より三十一日までを実施期間として全国一斉に秋の交通安全運動が行われます。芦屋警察署においても交通安全協会芦屋支部、芦屋市自動車運転者協会と一体となり、活潑な運動を展開しようと道路区画線の塗装、道路標識の設置その他種々の準備を完了しました

今度の運動の重点は、

対面通行の励行
車の直前、直後の横断の禁止。
正しい横断の励行。
学童、幼児の通行保護。

自動車の最高速度の厳守
追越の安全確認。
バス、電車停留所における諸車の駐停車の禁止励行。
車輛のハンドル、ブレーキ点検の励行。
自転車の一列進行励行。
踏切における安全確認の励行。
道路巾員の確保。
等で、安全運転と安全通行による無事故を目指して実施され、優良運転者の表彰

## 通行止

浜芦屋町バス道舗装…浜芦屋・松浜町境界の循環バス路線一四〇米に巾4mの舗装を施すこととなり10月17日から着工中。11月中旬完工します。

右工事のため同所は11月16日まで諸車通行止となり、この間循環バスは神銀グランド北沿い道路を迂回します。（停留所は従来どおり）

## 自転車ハイク

とき　11月3日前8時出発
集合　市役所前
目的地　箕面
コース　芦屋―武庫川―石橋―箕面―豊中―武庫川―芦屋（帰着後5時）
会費　不要　参加全員に粗品進呈。昼食各自持参。
申込　10月25日までに市商工課又は市内自転車店へ
主催　自転車組合、輪友会

県施工宮川改修工事…昨年度施工個所から北へ約一七〇米の間（親王塚橋南―土橋）川底を下げコンクリート護岸工事を行う市は工費の一部を負担し、護岸完成後は安全柵を設置します。

## 環境衛生協会生る

去る9月28日第一回地域衛生組織懇談会を市役所に於て午後7時より開会したが、十七地域より代表者四十名近く集会県よりは防疫課矢部係長、笹田保健所長係員、市よりは市長助役、総務部長、衛生課長係員が出席の上、茶屋町むつみ会増田氏座長となり、協議懇談をした。始めに衛生課製作のスライド幻燈を公開、活潑なる意見の交換があつたが、予定時刻を経過したので一先ず閉会。

引続き第二回懇談会を10月8日午後1時半より市役所三階で開催、十三地域二十四名集会し増田氏の司会によつて会議を進め、各地域代表の作業効果の発表があり、当局より総体的答弁の上、質疑応答を終えた。ついで各組織の横の連絡を図るため、芦屋市環境衛生協会設立の意見が出、会則案につき審議し、二、三修正の上設立を承認、会長に茶屋之町増田稲三郎氏を推した。副会長以下常任幹事は会長に一任午後5時20分散会した。

## 消防団の寄附行爲等の禁止

消防団が旧来からの習慣として、正月等に祝儀の名目で行つて居た寄附行爲は、全国の消防団の殆んどが行つている永年の慣習であり、特に本市消防団に限つたことではないのであるが、去る三月の市議会においてとかく批判論議されたいきさつもあるので今般次の事情により禁止することに決定されました。

一、集めた金銭が分団の維持費に充当されるとはいえ、出す方、貰う方（つまり市民と団員）の間にすつきりした気持がなくとかく市民各位から冷たい目で見られるという結果になること。

二、現代の消防団の在り方が昔のそれとは完全に異つて消防団員は地方公務員法により特別職であり、市民の公僕、奉仕者であり、愛される団員でなければならないこと。

三、消防組織法第六条によつて市町村は、その区域内における消防を充分に果すべき責任があり従つて消防の維持費は市町村が負担すべきものであること。

四、如上により市当局においては分団維持費相当額を交付すること（註、去る九月の市議会において可決確定された）以上により、本市消防団長より管下の各分団（岩園、打出、精道、山手）に対し、今後の寄附行為の一切禁止を通達したので、本市においてはこの種祝儀集め等の行為はありませんから宜敷くご了承願います。

なお本市の消防団の寄附行為や、祝儀集め等は禁止されましたが、將來団員の名称を使用してこのような行為をなす不心得者が出るかも判りませんからこれらの悪質なものにかからないよう充分ご注意願います。

（芦屋市消防団本部）

## 街頭納税相談所開設

国税庁では、広く納税者の陰の声を聞き、税務行政の円滑な運営を図りたいという主旨のもとに、十月一カ月間を「納税者の声を聞く月間」として全国的に呼びかけていますが、芦屋税務署においても、その行事の一つとして市と共同のもとに、次の日時、場所に納税相談所を開設して税務署及び市の幹部職員が親しく皆様の「税」に対する相談、要望等をお聞きすることになつていますからご遠慮なくどしどしお越し下さい。

## 十月の新着図書

○片山信夫　地学精義○時枝誠記　古典の解釈文法○笹内純一　実務刑法○市村真一　経済循環の構造○旺文社中学学習事典○大和球士　野球五十年○勝部元　現代のファシズム○スタロビン　この眼で見たインドシナ○木下広居　フランスの政治○高浜虚子　俳句への道○瀬沼茂樹　世界文学のなかの女性○テクスター　日本における失敗○佐々木恭一　大日本分県地図併地名総覧○黒川幸七　明清絵画図録　○黒川幸七　古鏡図鑑　○五味保義　万葉集作家の系列○三宅晴輝　日本の産業と観光　○時枝誠記　日本文法文語篇○市河三喜　世界言語概説上巻○旭化成弘報課　ぴよぴよ大学○相馬基　相撲五十年○山崎唐　人間の顔○小泉苳三　近代短歌史　明治篇○中谷宇一郎　知られざるアメリカ○鈴木大拙　仏教哲学・仏教道徳○波多野勤子　赤ちゃんの心理○滝川政次郎　日本人の歴史○オーデン　オーデン詩集○伊藤整　ジョイス研究○ワクセル　ベーリングの大探検○A・G・モートン　ソヴェト遺伝学○桑原晋　貧乏の経済学的研究序説　○福田雅之助　庭球五十年○G・ルカーチ　バルザックとフランス・リアリズム○山口喜久一郎　保守党から見た新中国○菊池侃　朝日経済年史○田中純　作家の横顔○創文社編集部　現代史事典○郡司信夫　拳闘五十年○武者小路実篤　人生問答○長谷川国雄　名小説ストーリイ集○長谷川国雄　米英新語ベスト年鑑○飯塚浩二　世界と日本○荻原井泉水　俳句の作り方と味い方○野崎信夫　盆栽の作り方○久松潜一　日本文学の歴史○源氏鶏太　サラリーマンの十戒○上月木代次　駅長一年生○田付たつ子　パリの甍○朝日新聞社　十年の逆算―戦後重要記事切抜集―○藤川忠治　古今和歌集○藤原惟人　日本プロレタリア文学案内○菊池栄一　ドイツ文学史　外多数新着、閲覧無料、読書相談にも応じます。火曜以外毎日9～17時開館。尚読書人クラブ、万葉集講座等あり、詳しくは市立図書館（電五九七八）へ

10月27日　前10時―後4時…公光町賀屋会館
10月28日〃…船戸町西山新聞店前（国鉄駅北口前）

## 自衛隊生徒を募る

防衛庁では、自衛隊で必要な、技術部門の陸、海、空曹を養成するため、年少の生徒を募集することになりました。將来特殊の技術を習得して、技術者としてわが国の防衛に当ろうとする少年諸君は、奮つて志願されんことを。

資格　(1)昭和14年4月2日～16年4月1日生れの日本男子　(2)中学校卒又は31年3月卒業見込者　(3)心身強健のもの

採用数　陸士約三〇〇、海士約一二〇、空士約一〇〇

受付　10月20日～11月21日

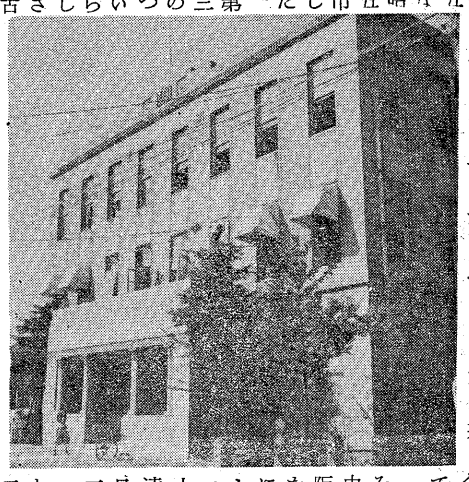
手続　姫路駐とん部隊（姫路市北平野）から志願票を受取り、之に所要事項記入、写真添付、返信封筒と共に同部隊宛提出のこと。

試験　第1次＝12月11日　第2次＝来年1月

詳しくは市庶務課へ。

## 芦屋ところどころ ⑳
## 慶びの市役所

この十一月十日は、芦屋市が生れてから、丁度十五年になる。昭和十五年に市制がしかれた時は、全国第一七三番目の市だつたというから市としてはさして古くない。併し新市ブームで約五百市に膨脹した現在では、わが市は、自慢ではないが、はや押しも押されもしない古顔にのし上つたというものだ。現に県下でも十九市中第七位を保つている。



本市の前身は精道村で、その精道村は遠く明治二十二年町村制施行と同時に、旧幕時代から続いていた芦屋、津知、三条及び打出の四村を併合したものである。即ち旧来といえば全国的に知られ、なまじ兵庫県を冠すると、却つてぎこちない感がする位だ。市域十五余平方粁、しかもその⅔は六甲山地で、殘りの平地に五万の市民が住んでいるのだが、それ丈に都市形態は非常にまとまりよく、年々山地は開発されて住宅が増えていく。

市の中心は市役所だ。それは又場所的にも街の中心に位している。即ち阪神駅の南隣り、芦屋川を背にし、国道から海岸に通ずるメーンストリートに東面している。鉄筋コンクリート三階建延百八十坪の矩形の現建物は、遠く大正十二年六月十四日に竣工し当時の金で總工費六万三千円也で日本一の村役場と驚嘆されたものである。爾来三十有二年を閲し、従て建物は市制より大分古い訳だ。クリーム色の外壁に、窓框の赤煉瓦が朝陽をまともに受けた時など、均整のとれた建物の全貌は、存していた芦屋の名称は村制施行に伴い一時かくれていたのが、芦屋市となつて再び表面に現われたのである。今では芦屋といえば全国的に知られ、なまじ兵庫県を冠すると、却つてぎこちない感がする位だ。市域十五余平方粁、しかもその⅔は六甲山地で、殘りの平地に五万の市民が住んでいるのだが、それ丈に都市形態は非常にまとまりよく、年々山地は開発されて住宅が増えていく。

市の中心は市役所だ。それは又場所的にも街の中心に位している。即ち阪神駅の南隣り、芦屋川を背にし、国道から海岸に通ずるメーンストリートに東面している。鉄筋コンクリート三階建延百八十坪の矩形の現建物は、遠く大正十二年六月十四日に竣工し当時の金で總工費六万三千円也で日本一の村役場と驚嘆されたものである。爾来三十有二年を閲し、従て建物は市制より大分古い訳だ。クリーム色の外壁に、窓框の赤煉瓦が朝陽をまともに受けた時など、均整のとれた建物の全貌は、鮮やかに映える。前庭植込みの桜や楓の梢が、複雑な陰影を、外壁に美しく投げかけている時などは尚更である。屋上では風力計が、緑の風にのつて、昼夜を分たずクル〳〵廻つている。嘗て独乙のある詩人は一寒村の教会上に立つている牡鶏の風車に託して、已が感懐を歌つたが、今この風車は風雪十五年の芦屋を眺めてきて、そも如何なる感慨であろうか。

市庁舎もその後事務や職員のふえるにつれて狭隘をつげ横に後に建増し又建増しの瘤をつけるに至つた。更に又附近に幾多の分室をもたねばならぬ様になつたのが現状である。

市役所は伸びる。そして芦屋市も愈々伸びていく。われ〳〵は国際文化住宅都市芦屋の多幸なる発展を、共々祈ろうではないか。芦屋市万歳!!

舞ひしきる風見車に秋
すみて町は文化のいぶきみなぎる　西田増蔵

《第3面から》

12月1日　芦屋市霊園予約受付を開始

**昭和29年**（1954）

2月17日　市立図書館小槌町へ移転再開。
4月20日　市立公民館が仏教会館に開館した
6月1日　市霊園内光明地蔵尊開眼法要。
6月30日　市警が廃止され7月1日兵庫県芦屋警察署が発足した。
10月4日　芦屋10景が選定された。
10月31日　秩父宮妃殿下本市に御来臨。

**昭和30年**（1955）

1月25日　芦屋市学校施設組合が創立された
2月20日　市内循環バス開通。
4月30日　市議会議員選挙執行。
5月19日　12代議長筏鹿一、副議長細川慶助就任。
9月19日　市議会副議長神井清太郎就任。
10月1日　国勢調査施行。
11月10日　市制施行十五周年記念式典挙行。

お知らせ

**市内**　中三遺児103名靖国神社参拝に19日出発、22日帰芦の予定

**苗木**　市制15周年記念植樹用オリーブ一本90円申込10月末迄に商工課へ

**煙草**　ぜひ芦屋の煙草屋で求められ度。消費税で市施設が豊かになる

**音楽**　会於精小11月2日前9時半幼小中生出演市民の歌指導有来場歓迎

**市民**　税（普通徴収第三期分）……10月31日迄